

2 - 3 重点事業評価

事業名

県内図書館等との連携協力の推進

(1) 事業の概要

● 対象

県内の市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関及び県内の各種機関（民間・行政等）

● 意図・目的

本県公共図書館の中核としての役割への期待も大きいことから、県内の市町村立図書館等への協力・支援を行ない、各種の研修により県全体の図書館サービスの充実を図るとともに、各機関との連携協力により、県民に対する幅広い読書推進活動に取り組む。

● 具体的取組の概要

①県内の市町村立図書館・公民館図書室職員を対象に開催する研修会や、新潟県図書館等情報ネットワーク構成機関（市町村立図書館・公民館図書室・大学図書館・試験研究機関等）を対象として行なう訪問相談・研修、小規模自治体向けのセット図書長期一括貸出等の充実を図ることにより、県全体の図書館サービスの向上を目指す。

②各種機関との連携協力により、連携型イベント（NICOクラブセミナー、季節の上映会、絵本ワールドinにいがた、古本再生市等）を開催するとともに、「越後佐渡デジタルライブラリー」と「郷土新聞画像データベース」の周知と充実に取り組む。

(2) 指標①（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
集合研修・訪問研修の参加者満足度（アンケート回答「参考になった」「やや参考になった」の割合）	90%	98% （達成率：109%）

（平成28年度実績：訪問研修・満足度アンケート未実施）

指標②（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
訪問相談実施後の満足度（アンケート回答「改善に結びついた」「多少結びついた」（含予定）の割合）	90%	100% （達成率：111%）

（平成28年度実績：訪問相談・満足度アンケート未実施）

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	AA	集合研修・訪問研修と訪問相談の満足度はいずれも高く、目標を上回る結果となった。
------	----	---

AA 目標が十分に達成された。

A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。

C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	県内図書館職員の資質向上に繋がる各種研修と訪問相談は、市町村等のニーズも高く、県立図書館として重要な事業であると考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	集合研修・訪問研修と訪問相談のアンケート結果を見ると、研修の有効性について肯定的な意見が多く、一定の成果が得られたと考えられる。

効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	集合研修の企画立案に当たっては、参加者のニーズを考慮したテーマと講師の選定を行った。訪問研修と訪問相談については、事前調整を十分に行い、各館の希望に沿った内容となるよう努めた。
-----	--------------------------------	--

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
<p>集合研修については、今後もアンケート結果等を参考としつつ、図書館サービス等の向上に直結する質の高いものを実施するよう取り組んでいきたい。</p> <p>訪問研修と訪問相談については、今後も事業の周知に努めるとともに、より高い効果を得られるように県内図書館の状況や要望を把握しつつ取り組んでいきたい。</p>

(5) 図書館協議会意見

<p>いずれの指標も、達成目標を大きく上回っており、自己評価「AA」は妥当である。集合研修や訪問相談・研修については、受講者や県内図書館職員等の要望やニーズを把握し、それらを反映した取り組みを引き続き期待する。</p> <p>資料提供においても、県内図書館等との一層の連携・協力を図ることが望ましい。例えば、県立図書館の「利用カード」を持っている人（登録者）は、県立図書館のホームページから図書を予約することにより、身近な市町村の図書館で受け取れるようなサービスが実現出来たらよい、という意見が出されている。</p> <p>図書館以外の多様な団体等との連携・協力を進めることも大切である。連携・協力をした各種の団体を（例えば、NPO法人の活動分野などにより）分類して集計することは、図書館の幅広い活動の裏付けとなる定量的な指標となり得るのではないか、という提案が出されている。</p>
--